

大分県移動教育委員会 会議録
(平成25年11月佐伯市会場)

日 時 平成25年11月25日 (月)
開会15時00分 閉会17時30分

場 所 ホテル金水苑「光彩」

大分県移動教育委員会
(平成25年11月会場)

【議 事】

- 1 開会あいさつ（県教育委員長）
- 2 佐伯市長あいさつ
- 3 佐伯市の取組説明
テーマ「佐伯市における学力・体力向上に向けての組織的な取組」
- 4 意見交換
テーマ「児童生徒の学力・体力向上に向けて」
- 5 まとめ
- 6 閉会

【内 容】

1 出席者

大分県

| | | |
|----------|-----|----|
| 県教育委員長 | 岩崎 | 哲朗 |
| 県委員長職務代理 | 松田 | 順子 |
| 県教育委員 | 波多野 | 順代 |
| 県教育委員 | 麻生 | 益直 |
| 県教育長 | 野中 | 信孝 |

佐伯市

| | | |
|----------------|----|-----|
| 佐伯市長 | 西嶋 | 泰義 |
| 佐伯市議会副議長 | 井上 | 清三 |
| 佐伯市議会教育民生委員長 | 芦刈 | 紀生 |
| 佐伯市議会教育民生副委員長 | 高司 | 政文 |
| 佐伯市議会教育民生委員 | 塩月 | 健治 |
| 佐伯市議会教育民生委員 | 浅利 | 美知子 |
| 佐伯市議会教育民生委員 | 濱野 | 芳弘 |
| 佐伯市PTA連合会会長 | 疋田 | 啓二 |
| 佐伯市PTA連合会副会長 | 安部 | 秀昭 |
| 佐伯市PTA連合会副会長 | 廣瀬 | 多賀子 |
| 佐伯市自治委員会連合会会長 | 山中 | 琢磨 |
| 佐伯市自治委員会連合会副会長 | 竹嶋 | 水夫 |
| 佐伯市退職校長会会長 | 牧野 | 昂吉 |
| 佐伯市退職校長会事務局長 | 檜垣 | 憲一 |

【学校長等】

佐伯市

| | | |
|-------------|----|-----|
| 佐伯市立佐伯小学校長 | 大司 | 毅 |
| 佐伯市立佐伯東小学校長 | 河野 | 明宏 |
| 佐伯市立渡町台小学校長 | 内藤 | 慎二 |
| 佐伯市立鶴岡小学校長 | 大塚 | 悦夫 |
| 佐伯市立上堅田小学校長 | 矢野 | 貞秀 |
| 佐伯市立大入島小学校長 | 大塚 | 裕一 |
| 佐伯市立八幡小学校長 | 河野 | 重幸 |
| 佐伯市立西上浦小学校長 | 内海 | 慶三 |
| 佐伯市立下堅田小学校長 | 深田 | 智賀代 |
| 佐伯市立青山小学校長 | 渡邊 | 保隆 |
| 佐伯市立木立小学校長 | 佐藤 | 公武 |
| 佐伯市立東雲小学校長 | 宮崎 | 哲次 |
| 佐伯市立上野小学校長 | 染矢 | 容子 |

佐伯市立切畑小学校長
佐伯市立本匠小学校長
佐伯市立宇目緑豊小学校長
佐伯市立直川小学校長
佐伯市立吹小学校長
佐伯市立松浦小学校長
佐伯市立向陽小学校長
佐伯市立色宮小学校長
佐伯市立上入津小学校長
佐伯市立楠本小学校長
佐伯市立西浦小学校長
佐伯市立河内小学校長
佐伯市立蒲江小学校長
佐伯市立名護屋小学校長
佐伯市立鶴谷中学校長
佐伯市立佐伯城南中学校
佐伯市立大入島中学校
佐伯市立彦陽中学校
佐伯市立佐伯南中学校
佐伯市立東雲中学校
佐伯市立昭和中学校
佐伯市立本匠中学校
佐伯市立宇目緑豊中学校
佐伯市立直川中学校
佐伯市立鶴見中学校
佐伯市立米水津中学校
佐伯市立蒲江翔南中学校
佐伯学校支援センター所長
佐伯東学校支援センター所長
佐伯西学校支援センター所長

尾中 真利子
高橋 豊明
鶴本 秀明
福田 優子
豊田 千鶴
増井 俊子
麻生 憲彦
杉原 勉
渡辺 文人
森崎 薫
山田 孝俊
西村 眞一
山本 雄二
岩尾 均
坂本 寛喜
國見 義隆
合屋 貴宏
小山 章彦
高野 慎吾
田村 准一
都留 俊之
上野 浩三
梶川 徳弘
前門 清一郎
菅 淳
渡邊 文也
染矢 博史
増村 信二
宇野木 郁
甲斐 浩一

大分県

大分県立佐伯鶴城高校教頭
大分県立佐伯豊南高校長
大分県立佐伯鶴岡高校長
大分県立佐伯支援学校長
大分県立(新)佐伯豊南高校長

中園 大統
山本 正徳
山崎 隆典
秦 靖恵
糸永 正弘

【教育委員会職員】

| | | | |
|-----|-----------------|----|-----|
| 佐伯市 | 佐伯市教育委員長 | 河野 | 利道 |
| | 佐伯市委員長職務代理 | 谷口 | 久枝 |
| | 佐伯市教育委員 | 長尾 | 浩司 |
| | 佐伯市教育委員 | 近藤 | 愛子 |
| | 佐伯市教育長 | 分藤 | 高嗣 |
| | 佐伯市教育総務課長 | 丸山 | 初彦 |
| | 佐伯市社会教育課長 | 清家 | 隆仁 |
| | 佐伯市体育保健課長 | 塩月 | 文昭 |
| | 佐伯市学校教育課長 | 甲斐 | 徳人 |
| | 佐伯市学校教育課参事 | 小野 | 正司 |
| | 佐伯市学校指導係長 | 川野 | 剛 |
| 大分県 | 県教育次長 | 河野 | 盛次 |
| | 県教育次長 | 宮脇 | 和仁 |
| | 教育改革・企画課長 | 佐野 | 壽則 |
| | 教育人事課長 | 藤本 | 哲弘 |
| | 教育財務課長 | 竹野 | 泰弘 |
| | 福利課長 | 大石 | 尚志 |
| | 義務教育課長 | 後藤 | 榮一 |
| | 生徒指導推進室長 | 江藤 | 義 |
| | 特別支援教育課長 | 後藤 | みゆき |
| | 高校教育課長 | 高畑 | 一郎 |
| | 社会教育課長 | 法雲 | 淳 |
| | 人権・同和教育課長 | 小池 | 昭太郎 |
| | 体育保健課体育・スポーツ振興監 | 秋好 | 寿紀 |
| | 佐伯教育事務所長 | 後藤 | 秀宣 |
| | 佐伯教育事務所次長 | 米持 | 武彦 |
| | 佐伯教育事務所総務課長 | 古野 | 邦弘 |
| | 佐伯教育事務所指導主事 | 有田 | 千香 |
| | 佐伯教育事務所指導主事 | 宮崎 | 好治 |
| | 教育改革・企画課参事 | 阿部 | 浩康 |
| | 教育改革・企画課主幹（総括） | 勝尾 | 裕美 |
| | 教育改革・企画課主幹 | 佐藤 | 英司 |
| | 教育改革・企画課主査 | 釘宮 | 隆之 |

2 傍聴人

2 名

【主な意見内容】

○学力向上について

(佐伯城南中校長)

小・中連携をしており、小学校での授業規律やノートの取り方の指導のおかげで、中学校では授業がやりやすくなった。

(佐伯小校長)

学習規律を作り、徹底していくよう全校集会で指導している。

家庭学習についても、家庭で協力して頂きたいことを1ペーパーにまとめて配布し、PTAでも呼びかけている。

(切畑小校長)

「家庭学習記録カード(学年×10分+10分)」を全学年が作り、毎日統計を取った。小規模校で、保護者の協力もあり、全学年クリアできた。

(PTA 連合会副会長)

宿題や家庭学習は、小中学生ともかなりできていると思う。

(本匠中校長)

家庭学習ができていない子どもには、昼休みに教員が一緒になって指導している。小中一貫校で、小5, 6, 中1年で同じ家庭学習ノートを使用し、親からハンコ(認め)をもらう等の取組を進めている。

(本匠小校長)

家庭学習ノートは、保護者にとっても子どもの様子がわかり、好評である。

(東雲中校長)

小中一貫教育を行っており、中学校の期末試験前に、「メリハリウィーク」と称し、小中学校で学習習慣を身につけるための取組を行っている。

(東雲小校長)

「メリハリウィーク」は、子どもも一生懸命取り組んでいる。親も毎日チェックできて好評である。

(県委員長職務代理)

生活リズムが確立している家庭の子どもは、確実に学力が上がっている。親

は、家庭の中で正しい生活習慣を身につけさせることが大事である。

(佐伯市長)

県はICT教育を推進しているが、これからも電子黒板等を県が学校に導入していくのか。それとも、市の方で負担するのか。また、佐伯市単独で支援員を採用し、特別支援教育に対する支援を行っている。ハード関係、ソフト関係まで市で予算を投入せざるを得ないという危機感があるが、県の考えをお聞きしたい。

(県教育財務課長)

電子黒板は、国が経済対策の一環として設置した基金を活用して整備した。ICT教育の推進は、今後非常に重要な課題である。国は、2020年までにタブレット端末を一人一台配備する計画しているが、財源についてはまだ決まっていない。現在の考え方では、義務教育の施設整備については、基本的には市町村でやって頂きたいと考えている。

(県特別支援教育課長)

今年9月の学校教育法施行令の一部改正で、学校の環境が整っていれば、特別な支援の必要な子どもも地域の学校で学ぶことが可能となった。市町村立学校における支援員の配置については、市町村にお願いしているところである。子どもたちが伸びていけば、支援員が援助をしなくても、子どもが自立できるようになるのが望ましい。

(佐伯東小校長)

ICT指導員のおかげで、職員が日常的にICT機器を活用している。昨年10月からはインクルーシブの研究を東京大学、民間企業、県、市と連携して、読み書きの苦手な子どものための取組を進めている。

(県教育長)

学力については、大分県全体ではここ5年間で小学校の学力が向上してきた。しかしながら、佐伯市においては中学校では伸びているが、小学校は伸び悩んでいる。小学校の校長先生方はこの状況をどう受け止め、どうしようとしているのかお聞きしたい。

(鶴岡小学校長)

結果が上がらない理由は、中学校のように何度も同じ勉強をしてテストに臨む取組がないことと考えている。2～3の単元をまとめて振り返りのテストを定期的に行って定着を図ろうと考えている。

(下堅田小校長)

授業改善は進んでいるが、定着状況について弱いと感じている。
3学期に学力テストを行い、子どもの弱点をチェックしている。

(上野小校長)

水曜日の放課後が佐伯市「学びの教室」の日で、地域のサポーターの方に入
っていただき、丸付けだけでなく、教えてもらうこともしている。

(鶴谷中校長)

小学校はドリルの時間が少ない。小・中学校間でもう少し情報共有が必要。
低学力層への対策と同時に、高学力層の生徒をどうするかに焦点を当ててい
かなければいけない。学校間では、改善に向けて本音の情報交換が必要と感じ
ている。

(鶴岡小校長)

学力向上支援教員が配置され、非常に授業はよくなってきている。しかし、
小学校では、得意不得意の教科があり、少しずつ教科担任制を取り入れている。

(PTA 連合会副会長)

佐伯市はスポーツ活動が他市町村に比べて盛んであり、家庭学習の時間はど
うしても減少する。そのことも学力が低い要因の一つになりえるのかなと思う。

(県委員長)

スポーツが盛んな場合に学力が落ちるかどうかは調査していないが、スポー
ツ活動を通じて規律がきちんとできて学力が上がるという逆の例は聞いたこと
がある。

(渡町台小校長)

担任は、朝の15分間でD層（低学力層）の子どもを中心に指導を行い、そ
れ以外の子どもには、空いている先生が指導を行っている。

(上堅田小校長)

朝の15分間のスキルタイムの活用の仕方に課題がある。放課後の学習では、
習熟度に応じた指導をきめ細かくやっていく。授業では、分からないところが
分かるような子どもを作ることを授業の基本としてやっている。

(市議会教育民生副委員長)

学力の問題は、教員の多忙な状況や経済的な格差、学校の施設や環境の問題
なども関わっている。

(市委員長職務代理)

大分県に来て驚いたのは、先生が同じ地域でずっといるということ。広域人事システムを有効活用したら、外から見た佐伯市の状況やもっと効果的な対策が見えてくるのではないか。

(PTA 連合会会長)

土曜日授業に対する考え方を聞きたい。

(県義務教育課長)

子どもたちが健やかに、土日にしかできない体験を含めて学びの機会を増やして頂くことを市や学校にお願いしたい。県も条件整備をしていく。

○体力向上について

(本匠中校長)

4月と8月に小中の体育科教員が集まり、小中の子どもの体力向上に向けての取組の共有化を図った。26年度10月の九州学校体育研究大会に向けて、体力向上の施策を進めている。

(直川小校長)

学力向上も体力向上も、すべてP D C Aで子どもの力を伸ばしていくということが基本。「直川小スタンプラリー」と称し、毎月全校集会で遊具を使ったサーキット運動に取り組んでいる。運動の楽しさを子どもは感じているようだ。子どもが日常的に取り組む場の設定が不十分なことが課題である。

(大入島中校長)

技能習得のために必要なトレーニングをする場を作らないと体力は伸びない。体力的なことを競い合う大会も必要なのではないか。

○まとめ

(佐伯市教育長)

それぞれの学校が特色を活かし徹底して実践すること、小中学校の校長先生全員が一枚岩になるために真剣に論議していくことが大事だ。佐伯の先生方は一生懸命がんばっているので、これから先明るい未来が見えてくると信じている。今後とも県教委の皆様のご指導をよろしくお願いしたい。

(県教育長)

様々な意見をお聞きすることができ、意義があった。学力の定着、先生方の授業力の向上等、高い目標を持って取り組んで頂きたい。県内には素晴らしい授業をする先生方がいらっしゃる。そのような先生を育て、いい授業をしてい

ってほしい。